

第1号議案

平成23年度事業報告

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

■ 観光事業

(1) 観光案内サービス機能の強化

○観光案内所運営事業（受託事業）

高田・直江津両駅前観光案内所を開設し、本市を訪れる観光客等の利便性向上を図るため、観光パンフレットの配布をはじめリニューアルした当協会ホームページやインターネットなどの資料を活用して、適時・適切な観光情報の提供を行いました。

高田・直江津両案内所は本市の観光窓口であり、観光客に対し、季節に応じたビューポイントを紹介するなど、従事者の資質向上を図りながら、きめ細やかな観光案内サービスを実施いたしました。

直江津駅前観光案内所で取扱い件数が大幅に減少している主な要因として、小木直江津航路の1隻化に伴い直江津港発着のフェリーを利用するバスツアーが、新潟港へシフトしたことによるものと思われます。

今後も訪れた方のニーズを的確に把握し案内できる体制づくりを行うほか、モデルツアーを紹介するなど、市内での滞在時間が長くなるような観光案内に努めてまいります。

平成23年度の観光案内所の取扱い件数

区分	22年度	23年度	増減件数	増減比率
高田駅前	8,890件	8,198件	△692件	△7.7%
直江津駅前	15,619件	11,301件	△4,318件	△27.6%
計	24,509件	19,499件	△5,010件	△20.4%

○春日山城跡でのパンフレットの設置等（自主事業）

平成21年の大河ドラマ「天地人」の放送による地域の盛り上がりを維持させるため、春日山城跡を訪れた観光客に対し、本市の情報を提供する場として、引き続き謙信公銅像前にコンテナハウスを設置し、各種パンフレットを配置しました。

また、昨年度から実施されている「越後上越 謙信公と春日山城展」と新たに実施された「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業と連携を図り、パンフレットの配置のみに終わることなく、観光客へのおもてなしやイベント時に観光ボランティアが常駐する待機場所等としても活用しました。

○観光ビジネス推進事業（受託事業、自主事業）

①観光ボランティアの新規募集、育成

当市を訪れる方々の満足度の向上に、地元の方とのふれあいや目的地での分かりやすい説明など、現地での観光ガイドに対するニーズは高くなっています。これまで以上に観光客の満足度を向上させるため、上杉謙信公や春日山城跡等の講座に力を入れ取り組みました。その結果、現在の観光ボランティア登録者数は73人で22年度より3人増となりました。（合併前上越市64人、安塚区1人、牧区1人、大潟区3人、頸城区1人、板倉区2人三和区1人）

②観光ボランティアによる案内及び誘客促進

当市を訪れる個人観光客や旅行エージェントからのガイド要請に対応したほか、高田城百万人観桜会や上越はすまつり、謙信公祭時における春日山城跡などの各種イベント会場においても観光ボランティアを派遣し、会場内を案内しながら市内観光スポットを紹介するとともに、観光客の市内周遊を促進いたしました。

平成23年度の観光ボランティアによるガイド実績

イベント名	実施日	ガイド回数	延ガイド 観光客数
観桜会	4月8日～4月24日	254回	5,613人
はすまつり	7月30日～8月21日の土日	180回	564人
謙信公祭 (あんない処春日山)	8月19日～8月22日	76回	220人
その他（ツアー含む）	随時	353回	5,362人
合 計		863回	11,759人

(2) 特産品の開発・普及・推進

○特産品開発・普及・推進事業（自主事業）

全国的な観光動向の中で、観光地に行く目的の一つとして「その土地ならではの食べ物を食すること」が、観光客に注目されています。その中で、日本スキー発祥100周年を記念し、上越市の食材を使用して開発した「レルヒさんカレー」を市内17の飲食店等で提供するとともに、お土産用として15,000食を超えるレトルトパックを販売するなど今年度も引続き販売の拡大を行い、地元のオリジナルカレーとして定着するよう努めた結果、市内の一部の中学校の給食にも採用されました。

また、「謙信公のかちどき飯」「謙信公 義のふるまい」「謙信勝負飯」「謙信公義の塩ホワイト焼きそば」を“謙信飯”として当協会のホームページ等で一体的にPRに取り組むなど、上越市を多面的にアピールいたしました。

(3) 広域観光ネットワークの推進

○広域観光ネットワークの推進（自主事業）

上越市・妙高市・糸魚川市及び関係機関と連携し、上越地域内での観光ネットワーク化を推進して交流人口の拡大を図りました。平成23年5月より上越地域振興局内に事務局を置く上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会の構成団体となり、三市の「広域観光マップ」作成への参画や新発田市の月岡温泉での「第1回国際ご当地グルメグランプリ」へ出展し、観光PRを実施しました。さらにスマートPRカード（名刺サイズのPR紙）作製モデル事業を実施するなどし、上越地域の観光ネットワークを活用して交流人口の拡大を図りました。また、北陸新幹線開業に向け糸魚川市観光協会等との連携についても取組み、関西方面からの誘客促進につながるよう準備を進めました。

○長野圏域、妙高市との連携（自主事業）

平成23年12月に長野県北部の14市町村、妙高市及び上越市の16市町村で構成する信越観光圏協議会が設立されました。観光圏とは、自然、歴史、文化などにおいて密接な関係の観光地を一体とした区域であり、観光地同士が連携して2泊以上の滞在型観光に対応できるよう、観光地の魅力を高めようとする区域です。

この観光圏では長野市をはじめとする長野県北部ならび妙高市とともに上越市の認知度向上ならびに誘客を目指しております。

なお、平成24年3月末に観光庁より信越観光圏の観光圏整備実施計画が認定されました。

(4) 観光宣伝の強化

○北陸新幹線開業／上越地域統一スローガンのPR（自主事業）

昨年度、商工会議所の新幹線開業対策活性化実行委員会が公募により決定した「北陸新幹線開業／上越地域統一スローガン」“義の心 謙信公の地 いざ出陣”を当協会のホームページや封筒、職員名刺など印刷物等に使用するなど、北陸新幹線開業に向けて上越地域が一体となった気運向上に努めました。

○ホームページ等による観光宣伝の強化（自主事業）

昨年度リニューアルした当協会のホームページを活用し、タイムリーな情報発信に今まで以上に取組むため、最新の情報をリアルタイムに提供できるようシステムを構築するなど、観光関連施設やイベント等の情報提供と観光PRの充実を図りました。特に行政では取組みにくい飲食・土産・宿泊等の情報の発信に力をいれました。また、会員情報を整理し会員のホームページとリンクを貼り、利便性の向上を図ったほか、機関誌の発行と合わせ、会員情報を総括的に広く提供いたしました。結果的に年間を通じて148,295件のアクセスがあり、平成22年度の91,006件に対して約1.6倍のアクセス数となりました。

平成 23 年度の月別のホームページへのアクセス件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	45,445件	8,198件	9,284件	15,361件	17,589件	8,028件
年間割合	30.6%	5.5%	6.2%	10.3%	11.8%	5.4%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	7,594件	5,106件	4,237件	5,723件	7,158件	14,572件
年間割合	5.1%	3.4%	2.8%	3.8%	4.8%	9.8%

○観光ガイドブックの作成（自主事業）

上越市の豊かな自然や歴史、遺跡、文化などの観光資源等について、持ち運びやすいコンパクトサイズで、わかりやすく紹介した「上越市観光ガイド」と市内の飲食店を紹介した食のガイドブック「うまいもん紀行」の作成・配布を行い、周遊及び宿泊滞在型の観光客誘致を図りました。

○上越市、妙高市の周遊観光パンフレットの作成（受託事業）

観光客が上越市と妙高市を周遊したくなるような、見やすく、使いやすい両市が一体となった観光パンフレット『jaM旅』を上越地域振興局及び上越市、妙高市より受託作成し、高速道路のSA等や両市の道の駅、ガソリンスタンド、コンビニなどに配布したほか旅行エージェントへの情報提供に活用するなど、両市が連携した観光客誘致を図りました。

○観光宣伝活動（自主事業）

①「さくらキャンペーン大使・特使」を活用した観光宣伝

平成22年度に委嘱した「さくらキャンペーン大使・特使」により、各種イベントや姉妹都市等での観光PRを引続き実施いたしました。

なお、さくらキャンペーン大使・特使の任期は「おおむね2年」としており、現在活動中の方々は、平成22年4月2日に委嘱してから約2年3ヶ月経過したことから、今年度中に新規公募・審査を実施し、来年度早々新しく委嘱する予定です。

平成 23 年度 さくらキャンペーン大使・特使の活動実績

活動日	イベント名
4月4日	観桜会（PRテレビ出演）
4月6日	観桜会（PRテレビ出演）
4月23日	ライオンズクラブ年次大会（観光PR）
6月4日	信州夢街道フェスタ（観光PR）
7月10日	北陸放送 旅フェスタ（観光PR）
7月25日	上越まつり（民踊流し）
9月24～25日	国際ご当地グルメグランプリ（観光PR）
9月26～27日	上越市の観光と物産展（名古屋市）

9月28～30日	大宮産直市（観光PR）
10月9～10日	姉妹都市等と上越市の観光と物産展（上越市）
10月1日	なおえつ鉄道まつり（観光PR）
10月22日	越後・謙信SAKEまつり（観光PR）
2月24～26日	上越市の観光と物産展（東京駅「上越市桜ストリート」）
3月29日	観桜会（PRテレビ収録）

②全国への情報発信・新聞、旅行雑誌、エージェント等を活用したPR宣伝

北陸新幹線開業に向けさらなる上越市の知名度向上を図るため、全国的な知名度を誇り、他所に類似するものがなく上越市にしかない資源である「上杉謙信公」「春日山」「高田公園の夜桜」を中心に、新聞、旅行雑誌、エージェント等を活用した宣伝活動を展開し、知名度アップと誘客を図りました。

また、効果的なマスコミへの情報提供を行うため、関係機関と連携してマスコミリストの作成や上越市の基本情報を提供するための情報ツールを整えるなど、マスコミへの対応強化を目指していきます。

(5) 物産の振興

○姉妹都市等での「上越市の観光と物産展」の開催（受託事業・自主事業）

①受託事業による観光と物産展の開催

姉妹都市をはじめとする各都市のイベント会場などに出張して「上越市の観光と物産展」を開催し、上越市の観光PRを行うとともに、物産の紹介・販売と販路拡大を図りました。特に、北陸新幹線開業に向けた首都圏でのPRを目的に、大宮駅をはじめ各地で物産展を実施し、夏の行楽シーズンに向け、海水浴場やはすまつり、謙信公祭等の観光PRを行い、誘客促進と知名度の向上や物産の販売促進に努めるとともに、物産展を契機に新たな取引が生まれるような仕組みづくりに取り組みました。

特に、平成27年春開業の北陸新幹線と東日本大震災で落ち込んだ観桜会のPRを兼ねて、東京駅で「新潟県上越市桜ストリート」イベントとして観光と物産展を開催いたしました。

また、姉妹都市等を当市に招致して「姉妹都市と上越市の観光と物産展」を開催し、多くの市民より姉妹都市の特産品等を賞味いただきました。

②自主事業による観光と物産展の開催

中京圏でのPRとして大変好評を得ている名古屋市における物産展も引き続き開催し、さらなるPRに努めました。

また、会員が独自で県内外の物産展等に出店する際には、当市の観光をPRするパンフレット類の提供などの支援をいたしました。

平成 23 年度 主な観光と物産展実績

《委託事業》

物産展等	開催日	出店数	売上げ金額
観桜会物産展（高田公園）	4月8日（金）～24日（日）	30店	25,534千円
岩内町物産展（出張）	7月8日（金）～9日（土）	3店	1,259千円
大宮駅物産展 （市農業政策課と連携・出張）	9月28日（水）～30日（金）	4店	847千円
姉妹都市と上越市の観光と 物産展（招致）	10月9日（日）～10日（月）	33店	6,897千円
米沢市物産展（出張）	10月22日（土）～23日（日）	2店	88千円
上田市物産展（出張）	11月19日（土）～20日（日）	5店	428千円
静岡市物産展（出張）	11月26日（土）～27日（日）	4店	391千円
東京駅物産展（出張）	2月24日（金）～26日（日）	7店	2,141千円
荒川区物産展（出張）	3月25日（日）	3店	260千円

《自主事業》

物産展等	開催日	出店数	売上げ金額
はすまつり物産展（高田公園）	7月29日（金）～8月21日（日） の土日	6店	429千円
ふるさと全国県人会まつり （出張）	9月10日（土）～11日（日）	2店	477千円
名古屋市物産展（出張）	9月26日（月）～27日（火）	7店	1,961千円

○高田・直江津駅の物産陳列棚の管理運営（自主事業）

高田・直江津駅の物産陳列棚に当市の特産品等を陳列し、商品の紹介を行いました。
適宜飾り付けを工夫しながら、引き続き特産品等の紹介に努めました。

〔6〕観光客へのおもてなし事業

○観桜会場から春日山城跡へのシャトルバスの運行（自主事業）

「春日山」への誘客を継続させるため、県内外から多くの観光客が訪れる観桜会場と「越後上越 謙信公と春日山城展」が開催される埋蔵文化財センターを結ぶシャトルバスを昨年引き続き運行しました。観桜会会期中（17日間）の全日運行し、春日山城跡への誘客を促進しました。

○観光客への利便性の提供（自主事業）

春日山城跡に様々な観光パンフレットを配置し、春日山城跡を目的とした観光客に、当市の名所・旧跡や自然などの豊富な観光スポットを一層楽しんでいただけるよう情報提供を行いました。

また、埋蔵文化財センターで行われている「越後上越 謙信公と春日山城展」に合わせ、当市のお土産等を会場内で販売し、来場者が手軽に旅の記念として買い求められるよう対応しました。

○「やろっさ！戦略」を基に着地型観光プログラムの策定（自主事業）

平成22年度に上越商工会議所と共に策定した「やろっさ！戦略」を基に事業を推進しました。本年度は、(1)コンテンツ強化戦略(2)プロモーション戦略(3)人材育成戦略といった3つの戦略と、早急に取り組むべき基礎調査をロードマップに沿って実施しました。

特に本年度は、高田と春日山という2拠点の着地型観光プログラム策定に向け、「謙信公ブランド活用ルート開発プロジェクト会議（∞プロジェクト）」を設置し、上越市のイメージ調査など旅行商品の構築に向けた調査研究を行いました。今後も上越商工会議所とともに継続して事業を推進いたします。

(7) 観光事業の運営及び支援

平成23年度の観光事業は次のとおりです。

○第86回高田城百万人観桜会（補助事業）

4月8日（金）～24日（日） 17日間

入込数：796,700人（対前年28.1%減）

第86回高田城百万人観桜会は、3月11日に発生した東日本大震災及び翌日12日発生し当市でも被災地域があった長野県北部地震の影響により、電力の抑制などから、イベントをすべて中止とし、またボンボリなどの照明も時間を短縮するなど、内容を縮小しての実施となりました。

また、避難所で長期生活を余儀なくされている被災者の心を癒すとともに、震災後の自粛が続出している市内イベントを正常化させるきっかけとし、市民の出控え感の解消も図るため、観光ボランティア付きの送迎バスにより観桜会への無料招待を実施いたしました。

さらに、被災者の支援を目的に、市内避難所の避難者全員及び新潟方面から見学に来られた避難者に金券を配布し、会場内の市内特産品販売所で使用していただき、市物産展の販売促進を図るとともに、東日本大震災及び長野県北部地震に対して観桜会本部前と三重櫓管理所前の2か所に募金箱を設置し、被災者支援募金の活動を実施しました。

入込数は震災の影響により、大型観光バスによるツアーが昨年比約1/3に激減し、開花は4月12日（火）と前年より3日遅かったものの、満開期間が6日間続き天候にも恵まれ満開期間中の6日間で57万人を超える入込となりました。

特に4月17日(日)には、自家用車での来場がピークとなり(約9,500台)、30万人を超える会期中最高の入込みとなりました。震災の影響で出控えや観光に対する自粛が懸念されて、団体ツアーはキャンセルが多発したものの、地域住民を含め、多くの個人客の皆さんからご来場いただいたため、最終的には796,000人の入込となりました。

○第36回上越まつり(交付金事業・上越まつり委員会主催)

7月23日(土)～29日(金) 祇園祭(高田・直江津地区)

入込数: 319,600人(対前年 3.8%減)

8月20日(土)～21日(日) 謙信公祭(春日地区)

入込数: 205,569人(対前年 14.4%減)

○第32回上越はすまつり(交付金事業・上越はすまつり実行委員会主催)

7月29日(金)～8月21日(日) 高田公園

入込数: 122,000人(対前年 14.7%減)

○レルヒ祭ー日本スキー発祥101周年(交付金事業・レルヒ祭実行委員会主催)

2月11日(土)前夜祭～12日(日)本祭

1月14日(土)～3月31日(土)レルヒマンス

入込数: 43,070人(対前年 57.8%減)

○海水浴場管理運営(受託事業)

7月16日(土)～8月21日(日) たにはま・なおえつ海水浴場

入込数: 451,180人(対前年 14.2%減)

○高田・直江津駅前観光案内所運營業務(受託事業)

4月1日～3月31日(年間)

○高田城三重櫓管理受付業務(受託事業)

4月1日～3月31日(年間)

○移動露店管理業務(受託事業)

観桜会、上越まつり等のイベント期間中

○第6回上越市を彩る写真コンテスト「写ッセ」(補助事業)

平成22年度まで市の主催で5年間行った「写ッセ」事業を、市からの補助を受け、観桜会、上越まつり、はすまつり等の市内のまつりを題材とした「上越のまつり三昧写真コンテスト」と一体化し、当協会主催で実施しました。

○「越後上越 謙信公と春日山城展」管理運營業務（受託事業）

謙信公の郷振興協議会から委託を受け、3月18日から埋蔵文化財センターで開催された「越後上越 謙信公と春日山城展」の受付と物販業務を11月27日まで行いました。

○「越後上越 上杉おもてなし武将隊」管理運營業務（受託事業）

上越市第四次観光振興5か年計画の中に位置付けられ、当市の知名度向上と春日山城でのおもてなしの充実を図ることを目的に市が設置した「越後上越 上杉おもてなし武将隊」管理運營業務を10月3日より受託し、知名度の向上とおもてなしの充実に取り組みました。

平成23年度の主な活動実績

平成23年10月～平成24年3月	
10月27日（木）～28日（金）	京急百貨店横浜上大岡店
11月5日（土）	天下統一イベント南魚沼市
11月12日（土）	上越教育大学学生イベント（ソフトバレー大会）
11月12日（土）	上越国際交流協会イベント
11月13日（日）	安塚恋こいまつり
11月16日（水）	謙信公ご当地グルメフェア
11月27日（日）	ファイナルイベント in 春日山
1月4日（水）	上越市新年祝賀会
1月18日（水）	上越市立高田幼稚園
1月24日（火）	第67回国民体育大会冬季国体壮行会
2月1日（水）	さいがた病院
2月2日（木）	上越市立大瀧小学校と沖縄兼城小学校交流会
2月5日（日）～6日（月）	世界SAMURAI サミット in 名古屋ドーム
2月8日（水）	上越光友会新年会
2月10日（金）	くびき野・食の宝石箱
2月11日（土）	江東センター冬まつり「100万人の食づくり運動」
2月11日（土）～12日（日）	日本スキー発祥101周年 レルヒ祭
2月12日（日）	寺野遊雪まつり
2月19日（日）	吉川公民館東田中分館雪の祭典
2月24日（金）～26日（日）	東京駅「桜ストリート」
2月25日（土）	灯の回廊オープニング
2月29日（水）	上越市立豊原小学校
上記以外の日	春日山で演武ならびに「越後上越 謙信公と春日山城展」の案内

■ コンベンション事業

(1) コンベンション事業の推進

○経済波及効果調査と情報収集活動（自主事業）

観光事業が及ぼす経済波及効果を調査するため、海水浴について専門機関に調査分析を委託し、検証しました。

また、北陸新幹線開業後は今まで以上に交通の要衝としての利便性が増すことから、教育・研究機関・スポーツなど大規模な大会や会議の誘致に向け調査活動を行うとともに、新潟県や関係団体等との情報交換を密にし、コンベンション誘致に取り組む組織である「上越MICE」を立ち上げるための情報収集に取り組みました。

上越市の海水浴場に関するアンケート調査結果（概要）

- 1 実施時期 平成23年7月中旬～8月末日
- 2 対象者数 1,120人（谷浜509人、直江津481人、鶯の浜130人）
- 3 調査方法 面談記入式
- 4 利用者の状況
 - ①海水浴場利用者の居住地
利用者の居住地は「県外」が9割、いずれの海水浴場でも「県外」割合が高い
 - ②海水浴場別の県内外利用者の居住地
県外利用者では「長野県」がトップ、利用者行動単位は「家族・親戚」が大部分
- 5 利用者の旅行日程・宿泊状況
 - ①海水浴場別の利用者の旅行日程 直江津、谷浜の7割以上が「日帰り」
 - ②海水浴場別の利用者の宿泊地 宿泊者のうち上越市内の宿泊割合は7割以上
- 6 経済波及効果の推計
 - ①市内3つの海水浴場の観光消費額合計は24.8億円
 - ②海水浴者数がもたらす経済波及効果（推計額）は33.5億円

○新潟県観光協会等との連携による誘致活動（自主事業）

- ・「うまさぎっしり新潟」新潟県観光商談会「春・夏」（東京都内） 9月14日
- ・新潟うまさぎっしり博（新潟市） 11月26日～27日
- ・「うまさぎっしり新潟」新潟県観光商談会「秋・冬」（東京都内）平成24年2月15日

○コンベンション開催支援事業（自主事業）

コンベンション主催者への支援と参加者へのサービスに取り組みました。

- ・主催者への補助金交付
- ・会場への歓迎看板等の掲出及び会場案内・宿泊施設等の情報提供
- ・特産品及び土産品の紹介並びに販売
- ・観光ボランティアの派遣及び観光パンフレットの提供

- ①第 47 回北信越高等学校ハンドボール選手権大会（北信越地域大会）
・6月17日～19日 柿崎総合体育館 参加者約 800 人（宿泊延べ 108 人）
- ②東日本高等学校土木教育研究会新潟大会（東日本大会）
・7月28日～29日 ロワジールホテル上越 参加者約 120 人（宿泊延べ 108 人）
- ③日本カウンセリング学会第 44 回大会（全国学会）
・9月17日～19日 上越教育大学 参加者約 450 人（宿泊延べ 370 人）
- ④日本数学教育学会第 44 回数学教育論文発表会（全国学会）
・11月12日～13日 上越教育大学 参加者約 530 人（宿泊延べ 934 人）

■ 総 務 関 係

(1) 上越観光物産センター・直江津屋台会館の施設管理

○上越観光物産センター・直江津屋台会館の清掃、受付案内業務（受託事業）

上越市から上越観光物産センターと直江津屋台会館の清掃、受付案内等の業務を受託し、受付・案内業務や館内等の清掃のほか、施設利用者や来館者に対して親切、丁寧な対応を行いました。

(2) 組織の強化

○会員の加入促進（自主事業）

会員の皆さまへのメリット還元の方策を探りながら、新規会員の加入促進に努め、入退会はありましたが、年度当初と同数の 347 会員となりました。

○機関誌の発行（自主事業）

会員の皆さまや関係機関との情報交換の円滑化と、相互の連携強化を図ることを目指して、春・秋の年 2 回、会員紹介や観光情報の提供等を行うため、引き続き協会の機関誌である「謙信・越後上越」を発行しました。

○各区観光協会等との連携（自主事業）

各区に組織されている観光協会等との観光情報の共有化と事業の連携を図り、それぞれが有している豊かな自然や歴史、文化並びにイベント情報を一体的に宣伝及び推進する体制づくりを進めるため、観光協会事務局会議を開催いたしました。

○事務局体制の強化と新たな法人への移行（自主事業）

北陸新幹線開業を見据えた旅行商品の企画や商品化、旅行エージェントとの連携強化などに取り組むため、㈱JTB関東より観光業に精通した専門職員を派遣いただき、観光事業の広域化や観光客ニーズの多様化などに積極的に対応するとともに、職員の資質の向上に努め効率的な事務執行に努めました。

また、国の公益法人改革に伴い平成25年11月末日までに新たな公益又は一般法人への移行に向け、移行の決定や新定款案を平成23年第2回通常総会で議決いただきましたので所轄庁である新潟県と協議を進めながら公益認定を目指し、申請手続きを進めます。